

エリザベス・サンダース・ホームに 太陽光発電・蓄電設備一式を寄贈

神奈川県遊技場協同組合(理事長：伊坂重憲)と神奈川県福祉事業協会(会長：伊坂重憲)は、神奈川県が推進するかながわスマートエネルギー構想に賛同し、光熱費削減による施設運営に寄与するとともに、入所児童に対する省エネ教育に資するため、太陽光発電・蓄電設備一式(約300万円相当)を寄贈しました。

1. 実施日	平成26年3月8日(土)
2. 場所	児童養護施設 エリザベス・サンダース・ホーム 神奈川県中郡大磯町大磯1,152番地
3. 寄贈者	神奈川県遊技場協同組合・神奈川県福祉事業協会
4. 寄贈先	神奈川県(エリザベス・サンダース・ホームに設置)
5. 寄贈品	太陽光発電・蓄電設備一式(設置工事費込) 約300万円相当

6. 概要 神奈川県遊技場協同組合と神奈川県福祉事業協会は、神奈川県が福島第一原発の事故に伴う電力需給の逼迫に対応し、安全・安心なエネルギーを将来にわたり安定的に確保するために、総合的なエネルギー政策として推進している「かながわスマートエネルギー構想」に賛同し、施設運営で大きな負担となっている光熱費を削減するとともに、自ら電気を創り、それを大切に使用することの教材として入所児童に対する省エネ教育に寄与するため、神奈川県を通じて太陽光発電・蓄電設備一式を寄贈しました。

寄贈式において伊坂会長は、「同施設は津波発生時の緊急避難場所に指定されていると伺っています。環境面だけでなく、防災面でもお役に立てばうれしい」と挨拶しました。

これに対し、神奈川県県民局長 松森 繁様から県知事感謝状を受贈しました。

この寄贈式の模様は、毎日新聞、神奈川新聞、タウンニュースでも紹介されました。

